

オルカン、S&P500に投資されているみなさま

相場の乱高下を乗り越えることで 投資家としての力量が高まる



三菱UFJアセットマネジメント株式会社
常務取締役 マーケティング部門長
代田秀雄

株式市場が乱高下し、為替市場も急速な円高が進んでいます。円高は外国株式に投資する投資信託の基準価額を引き下げることになります。今年から新しいNISAが始まり、投資を始めてみたもののこのまま続けていいか悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。久しぶりの大きな相場下落が、投資家のみなさまを不安にさせたのではないかと思います。

『eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)(以下、オルカン)』と『eMAXIS Slim 米国株式(S & P500)(以下、S & P500)』の2本の投資信託には、個人向け投信市場全体(公募株式投信(除くETF))の年初来資金フローの約35パーセントが流入しています。また残高でも1位、2位のこの2本の投資信託は、推計ではありますが、それぞれ延べ500万人を超える投資家の方々にご利用いただいています。改めて御礼申し上げますとともに、このような相場局面での私の説明責任をしっかりと果たしていきたいと思えます。

8月5日(月)、日経平均株価は1987年のブラックマンデーを超える4,451円の下げ幅を記録しました。この日のオルカンの基準価額は前営業日の24,475円から23,268円となり、1,207円、4.9%下落し、S & P500も前営業日の29,337円から28,019円となり、1,318円、4.5%下落しました。この2ファンドにとっては珍しいことですが、この日の解約額が設定額を大きく上回りました。投資家のみなさまの運用スタイルは必ずしも長期投資を前提とするものばかりではありませんから、相場下落時に、利益あるいは損失を確定して現金化するという投資行動は必ずしも否定できるものではありません。ただNISAで投資を始めた方の多くは長期投資を志向されていると思っています。長期投資とは途中で益出しや損切りをしないで持ち続けるということです。オルカンやS & P500への投資も含み益を大きくすることが、NISAの非課税枠を最大限有効に使うことになります。みなさまが長期投資を始めるときにオルカンやS & P500に投資することで期待したリターンはどの程度だったのでしょうか。オルカンは2018年10月に、S & P500は2018年7月に設定され、設定時に10,000円だった基準価額はどちらも20,000円台まで、2倍以上上昇しています。私は過去の世界株式市場の上昇の歴史から、20年、30年と長期投資を実践することでこの基準価額が5桁でなく6桁になってもおかしくないと思っています。同様に考えられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私のこの基本認識は、この相場の乱高下を踏まえても微塵も変わっていません。

※上記は作成日時点での個人の見解です。将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

投資信託の中でも債券に投資するファンドに比べ株式に投資するファンドは期待リターンは高くなります。期待リターンが高い投資は、リスクも大きくなります。高いリターンを獲得するためのプロセスに相応のリスクがあることは絶対的な法則です。リスクが大きいということは、期待するリターン水準に対して、直線的に右肩上がりで上昇するのではなく、上下を繰り返しながら上昇するということです。期待リターンが高いほど、リスクが大きくなり上下の価格変動が大きくなります。

より大きな果実を手に入れるのは、より大きな試練が待っているということに他なりません。この相場の乱高下は、市場が私たちに課した試練だと思っていただいてもいいのではないのでしょうか。この試練を乗り越えないと大きな果実は手に入りませんし、私たちはこういった試練を繰り返し経験することで投資家としての力量が高まっていくと考えています。これは机上の投資理論からは得られない実際の投資における重要な要素です。

上昇相場の時には市場にいたい、下落相場の時には市場から離れたと思う方もいらっしゃるでしょう。残念ながら短期的な相場変動は、投資を職業としているプロでも当てることはできません。ある局面で相場変動の予測が当たったとしても、偶然の産物である可能性が高く、継続的に正確に見通す力は誰にもありません。これは投資理論として実証研究されてきたテーマですが、短期的には株価も為替もランダムに動くといわれています。ランダムとは、規則性がなく予測不能な動き方をすることです。つまり、短期的な相場の上げ下げを正確に予想して上昇局面の時だけ市場にいることなど誰にもできません。投資を手仕舞って市場から離れてしまうことは、同時に相場上昇の機会を失うことにしかありません。

本日8月8日(木)は、相場も冷静さを取り戻しつつあります。オルカンならびにS&P500への資金フローも通常通り設定が解約を大きく上回っています。ここ数日、解約額は一時的に増えましたが、設定額はこれまで通りの水準で推移しています。これは長期投資家のみなさまが、引き続き長期投資を継続していこうという意思の表れであると捉えています。こういう市場の乱高下を経験しながら一緒に長期投資家としての力量を一層高めていきましょう。

以上

■eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)の**リスク・費用**

■eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)の**リスク・費用**

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

- 当資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料の内容は個人の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

販売会社は、下記の三菱UFJアセットマネジメントの照会先でご確認いただけます。

<ホームページアドレス>

<https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル>

0120-151034(受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く))

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
東京都港区東新橋一丁目9番1号
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会